

在コルカタ日本国総領事館管内安全対策情報  
令和4年度第3四半期（令和4年10月～12月）

1 社会・治安情勢

当館が管轄する西ベンガル州、ビハール州、オディシャ州、ジャールカンド州においては、これまで、極左武装勢力マオイストの脅威が存在してきたほか、国政与党BJPと西ベンガル州政与党AITC(TMC)間での衝突・抗争等により、死傷者を出す事件が発生しています。

今期は、主に以下のような事案が発生しました(当地紙報道による)。

【10月】

- 1日、西ベンガル州コルカタ市内において、ヒンドゥー教のドゥルガ・プジャ祭りの最中に、偶像に装飾されていた宝石類を盗んだとして、2人の男が逮捕されました。
- 2日、ジャールカンド州 Chatra で、マオイストを装った者らが、建設会社2社を恐喝しようとした疑いで4人が逮捕されました。4人は、橋の建設に従事している会社の労働者をら致して殴打し、20万ルピーの身代金を要求しました。
- 4日、ビハール州 Samastipur で、BJP 指導者の息子が何者かに鋭い武器で切りつけられ死亡しました。
- 10日、西ベンガル州コルカタ市内 Mominpur で、2つのグループ間で衝突が起き、車や店が破壊されました。
- 12日、西ベンガル州コルカタ市内 Entally で、2つのグループ間で衝突が発生し、一方がけん銃を発砲し、通行人の男性(61歳)が流れ弾に当たり負傷しました。
- 16日、ビハール州 Patna で、コルカタ行きの長距離列車が20人以上の武装強盗によって停止させられ、乗客は貴重品や持ち物を強奪されました。
- 23日、西ベンガル州 North 24 Parganas の Bhatpara で、AITC 幹部がプジャの偶像前に座っていたところ、何者かに発砲され重傷を負いました。
- 23日、ジャールカンド州 Ranchi で、交通上のトラブルから口論になった男性が、相手方の男性らから暴行を受け、片目を失明する重傷を負いました。
- 24日、オディシャ州 Nayagarh で、ディワリ祭の最中に、近くで爆竹を鳴らしたことで口論となり、男性が刺殺されました。
- 24日、西ベンガル州コルカタ市内で、ディワリ祭の最中に、違法な爆竹やアルコールを所持していたとして948人が逮捕されました。
- 25日、西ベンガル州 North 24 Parganas で、電車の線路付近に隠されていた粗製爆弾を子供たちがボールと思って遊んでいたところ爆発し、1人が死亡、3名が重傷を負いました。

- 26日、オディシヤ州 Kandhamal の Kunasalu 村で、マオイストが警察の情報提供者だと疑った男性を連れ去り、後に男性は遺体で発見されました。
- 27日、西ベンガル州コルカタ市内 Behala で、祭りの花火と大音量の音楽に抗議した住民夫妻が、複数の男性らに暴行を受けました。
- 28日、西ベンガル州 South 24 Parganas で、若い男性らが小屋を壊しているのを目撃した少年らが抗議したところ、若い男性らは少年らに向かって粗製爆弾を投げつけ、5人の少年が重傷を負いました。

#### 【11月】

- 14日、西ベンガル州コルカタ市内で、デング熱患者急増に伴う市行政に対するデモが州政府野党BJPによって行われ、それを阻止しようとした警察部隊と衝突し、数名のBJP党員が拘束されました。
- 17日、西ベンガル州 North 24 Parganas 地区 Minakha の Bagchora で、10歳の少女が叔父の自宅で粗製爆弾をボールと思って遊んでいたところ爆発し、死亡しました。
- 20日、ビハール州 Vaishali でスピード違反のトラックが群衆に突っ込み、少なくとも8人が死亡しました。
- 20日、ジャールカンド州 West Singhbhum 地区で、村人が森で薪を拾っていたところ、マオイストが仕掛けたと思われる地雷を踏んで死亡しました。

#### 【12月】

- 12日、西ベンガル州 Purba Bardhaman 地区で、水田に隠された粗製爆弾が発見されました。
- 13日、西ベンガル州 North 24 Parganas で、スクールバスがトラックと正面衝突し、少なくとも17人の児童がケガをしました。
- 13日、ジャールカンド州 Chatra の森林地帯で、15～20人のマオイストが建設用機械に放火した後、建設作業員を殴打し逃走しました。
- 18日、ビハール州 Gaya で、100万円の懸賞金が掛けられていたマオイストのリーダーとその仲間が警察に逮捕されました。
- 24日、西ベンガル州コルカタ市内で、バーの座席の予約を巡るトラブルから一方の男性がもう一方の男性を拉致し、けん銃を発砲し撃たれた男性は左手を負傷しました。

## 2 邦人に係る一般犯罪情勢

令和元年度までは、邦人の旅行者をターゲットにしたぼったくりや強盗事件が複数件

発生しました。令和2年度及び令和3年度においては、インド政府及び各州政府によるロックダウンのため、邦人の旅行者数や在留邦人の外出の機会が減少したため、邦人の一般犯罪被害は減少しました

令和4年10月から12月にかけても、当館では当館管轄地内における邦人の一般犯罪被害情報には接していません。

しかし、これは、犯罪が根絶された訳ではなく、市中で邦人が加害者に遭遇する機会が減少したことによるものであり、加害者は隙があるターゲットを常に探しています。

日本及びインド両国において、入国や行動の各制限が緩和されたことから、旅行や出張等で当地を訪問する邦人が徐々に戻りつつあります。これらの邦人をターゲットにした犯罪が増加する可能性があります。

強盗だけではなく、旅行者に対して、声をかけてくる人物にも最大限用心し、不審な誘いや要求があった場合、断るか、それには応じず速やかにその場を離れる等といった対応も必要です。

たとえ、声をかけてきた人物と一緒にいる間、親切的な振る舞いであったとしても、相手は巧みにだましてきている可能性があります。相手の突然の要求に不審を抱きながらも、これまでの経緯から信用した結果、被害に遭ってしまった事案がほとんどです。犯罪に巻き込まれないためには、常に細心の注意をはらい、相手の言動に不審な点が認められた場合は、問題がないと判断されるまで従わないように心がけてください。

当地では、親しくなったと思った頃に、信用したインド人から高額な保証金の支払いを要求されたり、預けた貴重品を持ち逃げたりされるなど邦人の被害が多く発生しておりますので、引き続き御注意ください。

(1) 殺人

邦人被害の事件には接していません。

(2) 強盗

邦人被害の事件には接していません。

(3) 強姦

邦人被害の事件には接していません。

(4) 詐欺・ぼったくり等

邦人被害の事件には接していません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

邦人被害の事件には接していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事案には接していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業がターゲットにされた事案及び関連情報はありません。

(御参考) 令和4年9月に、デリー出張中の当地在留邦人が現地で偽警察官による職務質問を受けるという事案が発生しました。物理的な被害等はありませんでした。

(了)